



# 野外で活動する際は 虫刺されにご用心！

令和2年5月20日  
富山県感染症情報センター  
(0766-56-5431 直通)  
(0766-56-8142 細菌部)  
(0766-56-8143 ウイルス部)

## 感染症発生動向速報

(令和2年第20週分・5月11日～5月17日)

### 《インフォメーション》

#### ●ダニが媒介する感染症

ダニは春から秋にかけて活動が活発になります。この時期、人々も農作業やレジャー等の野外活動を行うことが多くなるため、ダニに咬まれる危険性が高まります。ダニがウイルスや細菌などを保有している場合、咬まれた人が病気を発症することがあります。

国内で発生する可能性があるダニが媒介する感染症には、つつが虫病、日本紅斑熱、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ライム病などがあり、重症になると死に至ることもあります。県内ではつつが虫病だけが報告されています(表参照)。日本紅斑熱、SFTSの患者は西日本を中心に発生していますが、徐々に患者発生の地域が東日本へ広がっています。つつが虫病や日本紅斑熱の特徴として、発熱・発疹がみられたり、ダニの刺し口を認めることがあります。SFTSでは、発熱に加えて、血液検査で白血球減少・血小板減少を認めます。症状だけからこれらの病気を区別することは困難です。

ダニは県内に広く分布していると考えられます。**野外で活動する際は、ダニに咬まれないための対策が必要です。**以下のことに注意しましょう。

疾患名	県内(全国)の患者報告数		
	2018年	2019年	2020年
つつが虫病	4(456)	2(404)	0(1)
日本紅斑熱	0(305)	0(318)	0(5)
SFTS	0(77)	0(101)	0(3)
ライム病	0(13)	0(17)	0(0)

※2020年は19週までのデータ

- ①草むらなどに入るときには、肌が露出しないように、長袖、長ズボン、手袋、長靴等を着用しましょう。
- ②服の上や肌の露出部分に、虫よけ剤のスプレーを噴霧しましょう。
- ③地面や草むらに直に寝転んだり、腰を下ろしたり、服を置いたりするのはやめましょう。
- ④野外で活動した後は、すぐに入浴し、体や頭をよく洗い、新しい服に着替えましょう。
- ⑤吸着しているダニを無理に引き抜こうとすると、ダニの一部が皮膚内に残ってしまうことがあるので、医療機関で取ってもらいましょう。
- ⑥発熱等の症状が認められた場合は、早めに医療機関を受診し、野山等で活動したことを伝えましょう。

### 《全数報告の感染症》

指定感染症 新型コロナウイルス感染症 4件  
 二類感染症 結核 2件(①70歳代、女性 ②80歳代、男性)  
 四類感染症 A型肝炎 1件(60歳代、女性)  
 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件(80歳代、男性)  
 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件(80歳代、女性、G群)

### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	1.34(↑)	1.07
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.90(↑)	0.86
3位	マイコプラズマ肺炎	0.60(↑)	0.40
4位	咽頭結膜熱	0.17(↓)	0.24
	突発性発しん	0.17(↑)	0.14
6位	伝染性紅斑	0.03(↑)	0.00

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます  
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（令和2年第20週 令和2年5月11日～令和2年5月17日）

分類	疾患	今週報告分（第20週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
指定感染症	新型コロナウイルス感染症				4		4	5	5	17	7	191	225
二類感染症	結核			1		1	2	3	2	14	4	15	38
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									3		4	7
四類感染症	E型肝炎							2					2
	A型肝炎	1					1	8				1	9
	デング熱											1	1
	レジオネラ症							1		4	1	4	10
五類感染症	アメーバ赤痢											1	1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症					1	1	1		3	1	3	8
	急性脳炎							2				1	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					1	1			2		5	7
	侵襲性肺炎球菌感染症							1		1		3	5
	水痘（入院例）							1	2	2		2	7
	梅毒							2		2		4	8
	破傷風											1	1
	百日咳										24	2	26
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ							625	290	890	567	1,190
RSウイルス感染症								2	5	26	4	35	72
咽頭結膜熱		1 0.25	1 0.33	3 0.38			5 0.17	51	54	87	8	70	270
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		7 1.75	2 0.67	9 1.13	5 1.25	3 0.30	26 0.90	88	159	978	156	1,223	2,604
感染性胃腸炎		11 2.75	5 1.67	6 0.75	2 0.50	15 1.50	39 1.34	569	319	425	220	1,271	2,804
水痘								28	29	43	16	85	201
手足口病								18	1	13	4	39	75
伝染性紅斑						1 0.10	1 0.03	9	25	26		155	215
突発性発しん		1 0.25		1 0.13	2 0.50	1 0.10	5 0.17	12	11	73	26	42	164
ヘルパンギーナ								27		8	1	1	37
流行性耳下腺炎						1 0.10	1 0.03		3	3	4	5	15
流行性角結膜炎									5	7	2		14
無菌性髄膜炎											1	4	5
マイコプラズマ肺炎			1 1.00	2 2.00			3 0.60	1	4	15	16	9	45
感染性胃腸炎（ロタウイルス）										2	2		4
インフルエンザによる入院患者（*）								42	5	28	73	53	201

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

\* インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和元年第36週(9月2日)～の集計です。

○感染症発生動向調査報告状況（令和2年4月分）

		4月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症					7	7	1	1	7		18	27
						1.75	0.70						
	性器ヘルペスウイルス感染症					3	3		2		3	11	16
						0.75	0.30						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	尖圭コンジローマ									1		3	4
	淋菌感染症									2		8	10
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	1	2	1	1	6	8	4	8	5	9	34
		1.00	1.00	2.00	1.00	1.00	1.20						
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		1					1	1		4			5
		1.00					0.20						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。